

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和 5 年 2 月 27 日

事業所名: 児童発達支援教室 ゆるゆる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		個別療育であり、1グループ3~4人。1人ずつ6~8畳の個室で行っている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		個の特性に応じ、小集団活動時に指導者を増員している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		外階段の注意が必要 事業所が2階のため、歩行困難な子に対しては、スタッフが迎えに行き対応している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清潔にはスタッフ全員が注意を払っており、消毒や掃除を徹底している。 グループの入れ替え毎に消毒、換気を徹底している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の業務改善を職員間で出し合い、より良くするため協力している。また、改善策を言いやすい環境づくりに努め、出された意見に対しては迅速に対応している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者からの要望を出しやすい環境づくりに配慮している。 要望に関し、改善すべき事柄に関しては、迅速に対応している。	保護者からの評価に対し、不足している点を見直し、対応した。また、匿名でも意見が出せるように意見箱を設置した。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事務所お知らせにて公表している。評価表を参考に改善策を検討し実施している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による評価という形ではないが、保護者意見や、相談支援員からの意見等を参考に改善をしている。	今後、第三者による外部評価を実施できるように法人と話し合いをもってきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修に積極的に参加するようにしている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		毎回の療育終了後に保護者と話をしているため、要望や困りごとを確認しており、それに基づいて計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		年齢に応じ、遠城寺式や4.5歳用のアセスメントシートを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個の状況に応じて、ガイドラインの中の優先すべき項目を選択し、具体的な取り組み事項を決定し実施している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		毎回の記録に計画の目標に対する評価を記載し、次の支援につなげている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個別療育に携わるスタッフで、何度も話し合いしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎回の療育を終了した時点で、個々のスタッフが抱いた疑問や課題を発信しやすい環境を整えるとともに、複数のスタッフが関わる事で課題に気づきやすい状況とし、その都度プログラムを最適なものとしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		小集団に対応できる状態なのか。小集団で何を目標とするのか。等個々の状況に合わせてプログラムを作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		情報共有を朝礼で行っている。 前日には必ず療育の支援内容について意見交換と共有を行っている。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了時にその日の支援の状況について担当しているスタッフと意見交換している。 保護者より得た情報については全体で共有している。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別療育の中で、何のためにその課題を行ったか、どのように行ったか、反応はどうだったかが明確にでき、個の特徴をとらえられるようになっている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要時には、計画の期間を短縮して行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議に合わせて、個々の担当が参加できるように勤務を組んでいる。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターや幼・保育園などと連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		個にあわせて連携している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		担当医・リハビリ通院施設・入所施設などと連携をとっている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		定期的に通園施設と情報交換を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		卒所児に対し行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公開療育に参加している。また、同じ地域のセンターや集団療育施設に助言をうけたり、案を共有したりしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ禍で幼稚園などとの交流はできていない。今後の状態を見ながら、計画をしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		地域連絡協議会に参加し、他施設との交流を図っている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の療育終了後にその日の療育内容と子どもの様子を伝え、保護者の意見を聞いている。また、手帳にて日頃の気になる面等についてもやり取りをしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		希望する保護者に対し、専門のスタッフが個別にペアトレを行っている。(本年度より実施)		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に実施。また、自由に閲覧できるようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインにのっとり実施している。毎回の療育時に保護者の困りごとや希望を確認するため、計画時に保護者の意向や個別療育中に得た子どもの意向を反映する計画としている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回の療育において保護者と話す時間を設けている。保護者が希望するときにすぐに相談できる体制をとっている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者間の連携支援は不足しているが、同じ悩みを持つ保護者同士では、話をする機会を持てるようにしている。	保護者の待機時間を交流の場所と考えていたが、コロナのため実施できていない。保護者の意向を踏まえつつ計画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談については、希望時に迅速に対応している。面接によるものだけではなく、電話やメールにても相談を受けている。また、相談に対し連携が必要な場合は、他施設と連携し対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎回の手帳やお知らせボードにて情報を示している。活動内容は個々により異なるため、毎回直接説明している。	ホームページでの発信期間を短縮するように心がけたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		流出を避けるため個人情報に関する書類は持ち帰らない。鍵をかけて保存する。	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個別療育にて、伝達方法を保護者とともに思案したり、自宅での伝達方法を共有したりしている。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍で、利用者以外の施設への立ち入りは最小限としていた。今後の状況を見ながら計画していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		年2回の訓練とともに、個別のグループごとの訓練を計画。順次実施している。掲示物やホームページにて周知を図りたい。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		災害訓練の中で、避難物品の確認。収納場所からの取り出しの訓練。子どもたちに防災ヘルメットや防災頭巾装着の訓練。非常時の笛等への対応等を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		事前に詳しく確認しており、必要時マニュアル作成している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事提供なし	(食事の提供はないが、離乳食インストラクターによる食事についての相談や、鹿児島大学歯学部もぐもぐ外来との連携等で飲み方、食べ方等の相談を受けている。)
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		インシデント、アクシデント報告とともに朝礼でも共有し、注意喚起している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		できる限り研修に参加し、伝達を行っている。スタッフの意識は高いと感じる。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		怪我や事故から命を守るためのものとして、椅子ベルトや障害児のテーブル付き座位保持椅子等を使用している。使用が必要な場合は、必ず保護者に説明し同意を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)